

【令和3年度 児童通所支援事業所 さくらんぼ：児童発達支援 自己評価 集計結果】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	9	2	・規定人数は守られている。職員の力量の差などを考慮すると、足りないと感じる事がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	・寒い・バリアフリー化されているため、身体障がいの児童はもちろん、子どもたちの安全に配慮されている。・障がい特性上透けるタイプの窓等は設置されていないため、死角になってしまう部分がある為必要に合わせ、個室の数を制限するなどの対応をしている。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	9	2	・何事にもPDCAサイクルで回すことができるよう最後まで責任を持って取り組んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	・年に1回アンケートを実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	・年度末に公開・ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	2	・ISO監査や市の監査・ISOにて監査を受け、業務改善に努めている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	
	11	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	・事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	2	・月毎に担当を決めて行っている。・ミーティングにて行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	・前年度の反省等を生かして、子供達が取り組みやすい活動内容になるよう工夫している。・月ごとに製作やレクリエーション等季節を感じられるものを行っている。
	16	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	・ミーティングや朝礼、終礼時間に情報共有を図っている。
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	10	1	・終礼で何かあれば情報共有をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0		
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0	
	22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	
	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等の連絡体制を整えているか	9	2	・主治医からの指示書、意見書を基にケアしている。・かかりつけ医の把握をしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1	・必要に応じて情報共有会議等で行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1	・必要に応じて情報共有会議等で行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子供と活動する機会があるか	5	6	・新型コロナウイルス予防対策にて行わず・コロナの影響で交流なし。
	29	(自立支援)協議会の子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	5	・児童発達支援連絡協議会、放課後等デイサービス連絡協議会に定期的に参加している。今年度はzoom対応となった。
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	11	0	
	31	保護者に対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	2	・講座のお知らせをしている。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	0	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	・面談、連絡帳、送迎時のやり取り、必要な場合関係機関と連携。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	8	・コロナ禍の為難しいが、年間計画(予定)には入っている。・コロナ以前は行っていた。・コロナ禍で現在は難しい。・コロナの影響でなし。
36		子供や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	11	0	・広報誌やホームページ、事業所カレンダーで周知している。・ホームページにて様子を伝えている。
38		個人情報の取り扱いに十分注意しているか	11	0	
39		障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	6	・利用児者とその家族、地域住民が参加できる市民公開講座や介護フェス、秋まつり等を開催しているが、今年度は新型コロナウイルスの関係で、開催することが出来なかった。・今年度コロナ禍にてお祭り行わず。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	・2ヶ月に1回訓練を実施し、年2回総合防災訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん等の子供の状況を確認しているか	11	0	
	44	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2	・アレルギー検査の結果表等をいただいている。・保護者よりの申し出。・指示書はないが対応している。・容器の個別化
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	・施設全体でヒヤリハット、事故の内容、対応策を共有し、事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	・虐待防止委員会があり、勉強会に参加し防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	0	・該当する児童については、説明を行い、同意をいただき書きを交付している。 ・毎月の説明と同意書にサインを頂いている。